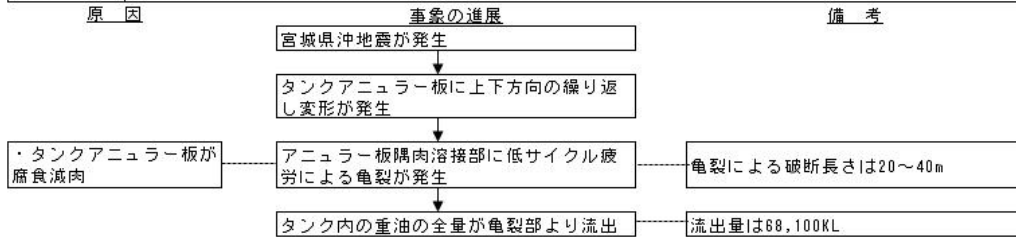




地震により屋外タンクの底板が破損し、重油が全量流出

事象進展図

00076	地震により屋外タンクの底板が破損し、重油が全量流出
発災年月日	1970年6月12日
装置	貯蔵・入出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	日常の保全が不十分なところへ地震が発生したことによる設備の破損、重油の流出



再発防止対策
①経年劣化による材料の強度低下を安全な範囲にとどめ、必要に応じて補修(必要板厚を確保) ②鋼板のコーティング ③開放検査時にコーティングの劣化・腐食状態を点検

安全専門家のコメント
地震による不幸な事故であるが、少なくともアニューラー板の腐食に対しては事前の対応が可能であると思われるので、最大限の努力が必要である。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
低サイクル疲労	・アニューラー板隅肉溶接部における亀裂の発生	《保守・点検要因》保守・保全不良 《外部要因》自然災害



地震により屋外タンクの底板が破損し、重油が全量流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・科学技術振興機構、地震による製油所屋外タンクの底板破損で重油の全量流出、失敗知識データベース

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

- 🔑 円錐屋根タンク>コーンルーフタンク,CRT
- 🔑 すみ肉溶接部
- 🔑 隅肉溶接部
- 🔑 タンク>貯槽
- 🔑 貯蔵系
- 🔑 貯蔵入出荷設備>オフサイト設備

▶ 関連情報